

回旋偏位検査-自覚的検査 Maddox double rod(二重杆) test

準備物 赤と白 Maddox 小杆・光源(ペンライト)・検眼枠・(5~6△のプリズム)

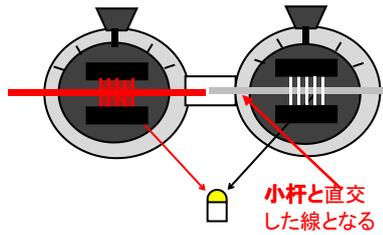
目的
上下斜筋麻痺やA-V型斜視に伴う回旋偏位の検出と定量

暗室にて、通常、回旋偏位があると
思われる眼に赤の小杆を、他眼に白
の小杆を、小杆方向が検眼枠の 90°
の位置になるように装用し、確認した
い距離で点光源を注視させる

右眼は赤、左眼は白と
決めてしまう場合もあり。(視
能矯正学 P230 参照)また、
白の方がより自然に近いの
で視力不良眼又は非優位眼
に白装用となっている場合も
ある。



渡辺聖：
眼科検査ガイド P309



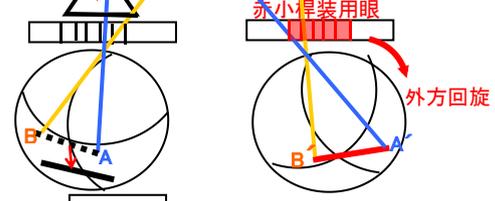
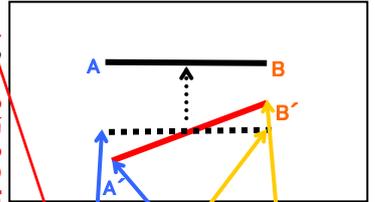
左右眼
が完全に分離す
るので最大回旋
偏位が測定でき
るよ！すなわち
融像する材料と
なる物が無い。

YES 頭をまっすぐにして、赤い線と
白い線が離れているか？ NO

片眼に 5~6△のプリズムを
基底上又は下方に装用する

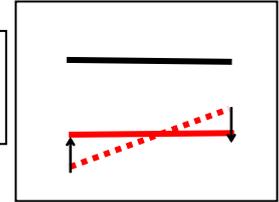
上下偏位がない場合、
一眼に 5~6△を基底上
方又は下方
に装用し、2つ
の水平線を分離させると
判り易い。でも上下筋
麻痺で回旋偏位がある
場合、上下にずれるの
はあたり前なので通常
必要なし。

例)右眼外方回旋斜視



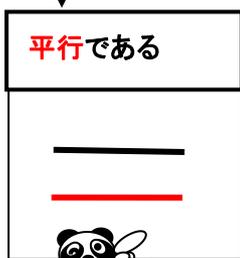
説明
後方から見た図

視空間では、網膜の位置の左右上下が
反対の位置に見えるので、左眼の鼻側
網膜の像 A は実際には左側青矢印に、
耳側網膜の像 B は、右側橙矢印に見え
黒破線の位置となるが、プリズムを基底
下方に装用すると、線は基底方向に曲
がるので網膜下方に投影され、実際には
線 AB は上方黒実線に移動する。右
眼では外方回旋斜視があるので上耳側
網膜の像は左下側青矢印 A' に、下鼻側
網膜の像は右上側橙矢印 B' に見える。



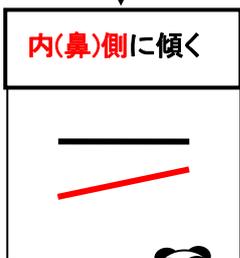
YES 頭をまっすぐにして、赤い線と白い線が平行であるか？ NO

* 図は右眼に赤小杆装用の場合



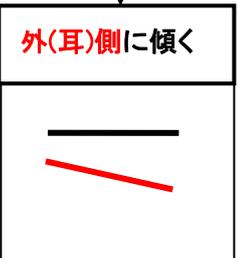
水平偏位がある
と横にずれる場
合があるよ。

回旋偏位なし



左右のどちらの眼
が内・外に傾いているの
かをチェック！！

傾いた線の眼の
外方回旋斜視(位)



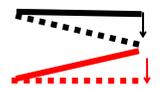
傾いた線の眼の
内方回旋斜視(位)

2つの線が、平行になるまで小杆を外方回旋は外方に
内方回旋は内方に回す

例) 30° 外方に回すと平行になった！

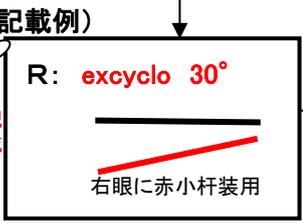
その検眼枠の数字と回した方向が回旋偏位の大きさと方向(単位は度)

注意！！
回旋眼が固視眼になることがある。
例では右眼外方回旋斜視だが、本
当は左眼が回旋眼(白の小杆の方)
だった場合(回旋眼の視力の方が良
かったり、優位眼であった場合など)



破線が実際の図であり、左眼外方
回旋斜視の場合もありうる。
麻痺眼固視の場合、回旋偏位度は
多くなる。

記載の図は
平行にする前を描く。
屈折矯正の有無も記
載すべきだが、記載
は色々。



判定基準) 平井淑江: 視能学 P322 での報告
第一眼位で
正常者の平均: 0.33±0.31° 外方回旋偏位

自分の結果を書いておこう！

短所

- 回旋斜視と回旋斜位の区別
ができない。
- 暗室にしなければならない。
(日常から離れている)

長所

回旋偏位の量的診断ができる。